

学部履修単位表

【平成 28 年度以降入学者用】

区分・科目		教育 科 学 科			履修単位数			備 考
		現代教育基礎学	教育心理学	関連教育システム論	小計	中計	大計	
専 門 科 目	所属系の専門科目	講義 4 演習 8 実習 12 ※講読演習 4 単位 (必修)を含む	12 4 12 ※実習 4 単位 (必修)を含む	12 4 12 ※社会調査・講読演習の中 から 4 単位を履修すること	28	68	84	履修科目の選択は、必ずオリエンテーションを受けてから行うこと。 所属系の専門科目の中から所定の単位を履修すること。 他系の専門科目の中から所定の単位を履修すること。 専門科目の授業形式、提供学部・部局等の別を問わない。大学院科目、教職科目を含む。
	他系科目	12			12			
	選択科目	28 ※他学部科目は 16 単位以内			28			
	卒業論文		16					
全 学 共 通 科 目	I 人文・社会科学	Ⅲ (外国語) で英語を選択した場合 : 18 以上 ※外国文献研究分野の教育学部提供科目 「外国文献研究 (教育・英) I・II」各 2 を含む Ⅲ (外国語) で英語を選択しなかった場合 : 14 以上			48 (40)	72	◆ I・II の最低必要単位数を満たしたうえで、I・II・IV～VIII の科目群から、次のとおり履修すること。 ・英語を選択した場合、「外国文献研究 (教育・英) I・II」各 2 単位及び E 科目 4 単位以上を含む 48 単位以上 ・英語を選択しなかった場合、40 単位以上	
	II 自然科学	6 以上						
	IV 情報学							
	V 健康・スポーツ							
	VI キャリア形成							
	VII 統合科学							
	VIII 少人数教育							
III 外国語	第 1 外国語 英 語 : 8	英語以外 : 16	リーディング 4 ライティング・リスニング A・B 各 2	24 (32)	◆ 英語、ドイツ語又はフランス語のいずれか 1 か国語を含めて 2 か国語 ◆ 英語以外の外国語は初級から 8 単位、中級・上級から 8 単位を履修すること。			
	第 2 外国語 : 16							
総 計		156				授業科目 + 卒業論文		

※中計の () 内は、Ⅲ外国語科目群で英語を選択しなかった場合の必要単位数

◎これらは卒業に必要な最低限度の単位数であり、これ以上の履修を妨げるものではない。

なお、授業科目の履修にあたっては、4 月初めのオリエンテーションを受けた後、KULASIS にて履修登録すること。

備考 1 : 1 回生配当科目「教育研究入門」は、1 回生時に修得すべき必修専門科目である。

(ただし、本学部 3 回生への転入学者及び学士入学者は、この限りでない。)

1 回生時に未修得の者は、2 回生時に修得すること。卒業要件の単位としては選択科目に数える。

2 : 卒業論文を除く 3 系共通科目は、選択科目に数える。

3 : 学士入学者は専門科目を履修すればよい。

4 : 全学共通科目については、「全学共通科目履修の手引き」を参照すること。

5 : 全学共通科目の履修登録単位数の上限は 34 単位。(通年科目は 1/2 単位を算入) ただし、集中講義は除く。

6 : 2 回生配当科目「外国文献研究 (教育・英)」は、I・II を 1 科目ずつ履修すること (4 単位のみ認定)。

7 : Ⅲ外国語科目群のスペイン語 I (会話) は、卒業に必要な単位として認定しない。

8 : Ⅲ外国語科目群の日本語は外国人留学生のみ選択することができる。その場合、英語を除く 1 か国語 16 単位のうちの 8 単位として読み替えることができる。

9 : 大学コンソーシアム京都との単位互換科目は、卒業に必要な単位として認定しない。

10 : IV 情報学科目群については、履修することが望ましい。

11 : 教育職員免許状を取得しようとする者は、「教育職員免許状の取得について」を参照すること。

学部履修単位表

【平成 25 年度～平成 27 年度入学者用】

系 区分・科目		教 育 科 学 科			履修単位数			備 考
		現代教育基礎学	教育心理学	関連教育システム論	小計	中計	大計	
専 門 科 目	所属系の専門科目	講義 12 専門ゼミナール 4 演習 12 実習 } ※講読演習 4 単位 (必修) を含む	12 4 12 } } ※実習 4 単位 (必修) を含む	12 4 12 } } ※社会調査・講読演習の中から 4 単位を履修すること	28	68	84	履修科目の選択は、必ずオリエンテーションを受けてから行うこと。 所属系の専門科目の中から所定の単位を履修すること。 他系の専門科目の中から所定の単位を履修すること。 専門科目の授業形式、提供学部・部局等の別を問わない。 大学院科目、教職科目を含む。
	他系科目	講義 演習 実習	12		12			
	選択科目	講義 演習 実習	28 ※他学部科目は 16 単位以内		28			
	卒業論文		16					
全 学 共 通 科 目	人文・社会科学系科目群		14		40	56	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群の最低必要単位数を満たしたうえで、人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群（ただし、単位互換等科目を除く）から自由に 20 単位選択して合計 40 単位履修すること。	
	自然・応用科学系科目群		6					
	現代社会適応科目群							
	拡大科目群							
	外国語科目群	第 1 外国語 8 第 2 外国語 8 ※英語、ドイツ語又はフランス語のいずれか 1 か国語を含めて 2 か国語 ※英語を履修する場合、8 単位のうち 2 単位は「英語（教育科学）」を必ず含むこと。英語以外の外国語は初級から 4 単位、中級・上級から 4 単位を履修すること。			16			
総 計		140				授業科目＋卒業論文		

◎これらは卒業に必要な最低限度の単位数であり、これ以上の履修を妨げるものではない。

なお、授業科目の履修にあたっては、4 月初めのオリエンテーションを受けた後、KULASIS にて履修登録すること。

備考 1：1 回生配当科目「教育研究入門」は、1 回生時に修得すべき必修専門科目である。

(ただし、本学部 3 回生への転入学者及び第 3 年次編入学者は、この限りでない。)

1 回生時に未修得の者は、2 回生時に修得すること。卒業要件の単位としては選択科目に数える。

2：卒業論文を除く 3 系共通科目は、選択科目に数える。

3：第 3 年次編入学者は専門科目を履修すればよい。

4：全学共通科目については、「全学共通科目履修の手引き」を参照すること。

5：全学共通科目の履修登録単位数の上限は 30 単位。(通年科目は 1/2 単位を算入) ただし、集中講義は除く。

6：2 回生配当科目「英語（教育科学）」は、前後期 1 科目ずつ履修すること (2 単位のみ認定)。

7：外国語科目群の工学部国際コース向け科目及びスペイン語 I (会話) は、卒業に必要な単位として認定しない。

8：現代社会適応科目のうち情報系科目については、履修することが望ましい。

9：教育職員免許状を取得しようとする者は、「教育職員免許状の取得について」を参照すること。

学部履修単位表

【平成 24 年度以前入学者用】

		教育科学科			履修単位数			備考		
		系	現代教育基礎学	教育心理学	関連教育システム論	小計	中計		大計	
区分・科目								履修科目の選択は、必ずオリエンテーションを受けてから行うこと。		
専 門 科 目	所属系の専門科目	講義 4 演習 12	12 4 12	12 4 12	12 4 12	28	68	84	所属系の専門科目の中から所定の単位を履修すること。	
	他系科目	講義 演習		12					12	他系の専門科目の中から所定の単位を履修すること。
	選択科目	講義 演習		28	※他学部科目は 16 単位以内				28	専門科目の授業形式、提供学部・部局等の別を問わない。 大学院科目、教職科目を含む。
	卒業論文		16							
教 養 科 目 (全学共通科目)	A 群： 人文科学 社会科学				16	36	56	A・B 群の必要単位を満たしたうえで A・B 群から自由に 12 単位選択して合計 36 単位履修すること。		
	B 群： 自然科学				8					
	C 群： 外国語	第 1 外国語 第 2 外国語	8 8	※英語、ドイツ語又はフランス語のいずれか 1 か国語を含めて 2 か国語 ※英語を履修する場合、8 単位のうち 2 単位は「英語（教育科学）」を必ず含むこと。英語以外の外国語は初級から 4 単位、中級・上級から 4 単位を履修すること。		16				
	D 群： 保健体育	講義 実習		4				A・B・D 群から自由に 4 単位履修すること		
総計		140						授業科目＋卒業論文		

◎これらは卒業に必要な最低限度の単位数であり、これ以上の履修を妨げるものではない。

なお、授業科目の履修にあたっては、4 月初めのオリエンテーションを受けた後、KULASIS にて履修登録すること。

備考 1：1 回生配当科目「教育研究入門」は、1 回生時に修得すべき必修専門科目である。

(ただし、本学部 3 回生への転入学者及び第 3 年次編入学者は、この限りでない。)

1 回生時に未修得の者は、2 回生時に修得すること。卒業要件の単位としては選択科目に数える。

2：卒業論文を除く 3 系共通科目は、選択科目に数える。

3：第 3 年次編入学者は専門科目を履修すればよい。

4：全学共通科目については、「全学共通科目履修の手引き」を参照すること。

5：2 回生配当科目「英語（教育科学）」は、前後期 1 科目ずつ履修すること（2 単位のみ認定）。

6：C 群の工学部国際コース向け科目及びスペイン語 I（会話）は、卒業に必要な単位として認定しない。

7：教育職員免許状を取得しようとする者は、「教育職員免許状の取得について」を参照すること。